

第20期

事業報告書

平成14年4月1日～平成15年3月31日

CONTENTS

株主の皆さまへ	1
特集 中期3ヵ年計画	3
JFEの統合	4
グループ会社のご紹介	5
財務ハイライト	6
要約単体財務諸表	7
要約連結財務諸表	9
会社概要／株式の状況	10



川鉄情報システム株式会社

証券コード：4832



株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社の第20期（平成14年4月1日から平成15年3月31日）事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期の業績につきましては、厳しい環境の中、得意分野での収益向上やコストダウンにより7期連続で増益を達成することができました。また、当期より川商インフォメーション・テクノロジー(株)が当社グループに変わり、重要な経営課題である「事業規模の拡大」についても進展させることができました。

ITブームが沈静化し、情報サービス業界には逆風が吹き始めておりますが、ITの重要性は失われていないどころか、ますます高くなると思います。当社はそのような状況の中、事業構造転換の必要性を改めて認識し、中

長期的な戦略実現に向けた「中期3ヵ年計画」を本年3月に策定いたしました。この計画では、システム化のメリットをより積極的に顧客に提案する「マーケティングの強化」と、厳しい価格要求にも対応できる「開発コストの大幅な削減」を実現することが主眼であります。「中期3ヵ年計画」の達成により、当社は総合力を発揮できる事業規模とより高い収益性を持った企業に成長しようとするものです。全力を挙げて計画達成のための努力をしていく所存であります。

株主の皆様におかれましては、引き続き今後の川鉄情報システムに暖かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役社長

富島 心

営業の概況

【全般的概況】

当期の我が国経済は、雇用情勢の悪化や株価低迷に加え、世界的な政情不安の影響も受け、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。当業界におきましても、顧客のシステム投資抑制傾向が強まる中、情報サービス売上高前年同月比率が昨年7月に27ヶ月ぶりのマイナスを記録し、その後もマイナス基調が続くなど、経営環境は予想以上に厳しいものとなりました。

このような事業環境の急速な変化に対処すべく、当社グループは、収益改善やリスク管理の徹底（「全社危機管理委員会」の発足等）に取組みました。

金融業界を中心として情報システム予算が縮小され、中長期的なメリットを狙いとする投資が先延ばしされる状況の中、当社固有のソフトウェアパッケージをベースとした電子帳票システムやCRMシステムの売上を伸ばすとともに、製造流通業界でニーズの強かった経営管理システムの新規案件獲得を重点的に行ってまいりました。

また、本年4月のJFEグループ事業

会社の再編・統合に向けて、お客様と一体となった開発・フォロー体制の下、入念なテスト・運用教育を実施し、円滑な統合の遂行に備えました。また、統合効果の最大発揮とさらなる競争力向上に貢献すべく、高度なITを駆使した新たな情報システム構築の検討にも参画いたしております。

当期はこれらの活動と並行して中長期的な業績向上に向けた検討にも着手し、平成15年度から平成17年度の中期3ヵ年計画を策定いたしました。

なお、昨年4月に子会社化した川商インフォメーション・テクノロジー(株) (以下、KIT) は順調に業績を伸ばし、連結業績の好転に寄与するなど、M&A政策の面でも成果を収めることができました。

【事業部門別概況】

当期における当社グループの事業部門別の営業成績は以下のとおりであります。

●ビジネスアプリケーション・

システム事業部門

金融業界向けシステムの需要減、Webアプリケーションシステムにおける大型案件の先送り等により、単

体ベースの売上高は前期に比べ若干減少しましたが、当期より子会社となったKITの取引分が加わったことにより、前期に比べ売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当期の連結売上高は29,328百万円となりました。

●プロダクトベース・

ソリューション事業部門

顧客の戦略的なIT化促進による需要増大を期待していたEC・EDIシステムで投資抑制、延期により業績が悪化したものの、販売拡大やコストダウンに直結するCRMソリューションおよび電子帳票システムは売上を伸ばしました。

この結果、当期の連結売上高は6,336百万円となりました。

以上の結果、当期の連結売上高は35,664百万円となりました。利益面では、営業利益は1,905百万円、経常利益は1,886百万円、当期純利益は934百万円となりました。

なお、当社は当連結会計年度から連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度については記載しておりません。

新社長就任のご報告



平成15年6月24日開催の第20回定時株主総会ならびに引き続き開催されました取締役会におきまして、私、岩橋誠が新たに代表取締役社長に選任されました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

岩橋 誠

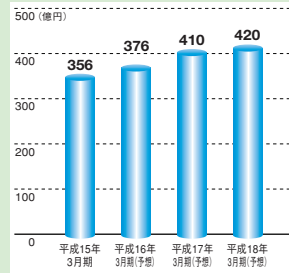
中期3カ年計画

企業価値のさらなる向上に向けて、中長期的な経営戦略を立案・実行すべく、当社は平成15年4月をスタートとする新たな中期3カ年計画を策定いたしました。

中期経営目標

- JFEスチール向け以外をさらに伸ばし、事業規模を拡大する
- JFEスチール新統合システム構築を計画通り推進する

■ 売上高推移（連結）



中期重点課題

- マーケティング強化
- システム開発コストの削減
- 事業規模の拡大 (M&A)
- JFEスチール新統合システムの構築

システム開発コストの削減

- 部品化、再利用の徹底～労働集約型開発からの転換のために
 - ▶ 当社流オブジェクト指向の普及、レベルアップと優位性のアピール
 - ▶ 専任組織を設置し、中期3カ年でオブジェクト指向適用案件売上高35億円（大幅な利益率向上）を目指す

当社流オブジェクト指向とは
名称「AGILO[®]」アジャイロツォー（商標登録出願中）

- ①当社が長年研究・適用してきたデータベース構築技術（モデリング技術）と、②ソフトウェアの部品化・再利用技術を、オブジェクト指向によって一体化したビジネスアプリケーションシステム構築手法。
- システム構築方法論に加え、プロジェクト管理手法、実現のためのツール群を体系化したもの。

マーケティング強化

- 販売力強化のために
 - ▶ 全社横断的組織としてマーケティング部を設置（平成15年4月）
 - ▶ SI系とプロダクト系の融合による業種別ソリューション（部品組立型製造業等）提供を狙いとした組織再編（平成15年7月）
 - ▶ 主として製造流通業界向けに顧客ニーズを先取りしたトータルソリューションを提案

JFEの統合

旧川崎製鉄(株)と旧日本鋼管(株)、
巨大な2つの鉄鋼会社のシステム統合は、
トラブルなく完了しました。

平成15年4月1日、旧川崎製鉄(株)（以下、川鉄）と旧日本鋼管(株)（以下、NKK）の統合システムはトラブルなく稼動しました。

基本設計までは川鉄とNKKが共同で行い、開発は当社とNKKの関連会社である(株)エクサがそれぞれの分担を決めて別々に行いました。システムテストは2段階に分け、まず当社、エクサそれぞれの会社で検証を行い、その後ドッキングして両社全体としてのシステムテストを実施しました。

川鉄とNKKの間には、システムだけではなく、管理項目や決裁の仕組みなど業務の進め方においても多数の違いがありました。例えば、品種などのコード体系が異なっているため、統合後に問題なく共通で運用するためには新

たに管理用のデータベースを構築する必要がありました。また、両社にはそれぞれ長年運用してきたシステムがあり自社システムへの愛着も強いことから、なかなか開発の仕様が決まらず当初予定より短い期間での開発を迫られる局面もありました。

これら数々の課題を解決しながらもトラブルなくシステム統合ができたことは当社の大きな誇りです。

今後も、平成16年4月予定の経営管理系（経理、資材等）システムリフレッシュ、平成17年4月予定の販売～生産～物流の一貫運営、一元化など、JFEスタイルの新統合システム構築を計画通りに推進するとともに、JFEグループの情報武装化の中核企業として積極的な提案を継続していきたいと考えています。

今回の対応システム

人事、特許管理を除き、基本的に両社システム併存形式とし、業務の一体性、対外一体性、一部統合効果、マネジメント支援の観点から対応を行いました。

今回の対応システムは、大きく分けて、「販物流系」「経営管理系」「基盤系（インフラ）」の3種類があります。

■販物流系

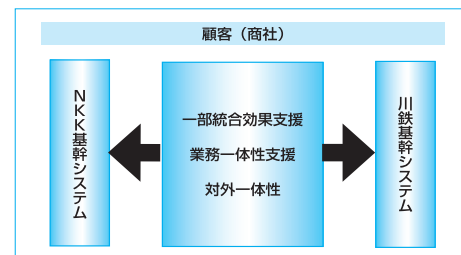
販物流とは、販売・生産・物流を意味し、鉄鋼事業における顧客、商社、営業、製鉄所、流通基地間のオーダーや製品の物流などに関するシステムです。

■経営管理系

人事・労政、経理・財務、資材・原料、知的財産、総務などのシステムです。

■基盤系

ホストやネットワーク、オープン系など、情報インフラに関するシステム環境が対象です。本社および全国の支店や支社で統一化を図りました。



グループ会社のご紹介

平成14年4月1日に当社のグループ会社となったKITシステムズ(株)をご紹介します。

(平成15年7月「川商インフォメーション・テクノロジー(株)」より商号変更予定)



KITシステムズ株本社があるリバー蔵前ビル

KITシステムズ株式会社

同社は、ソフト事業を中心とする川商コンピューターサービス(株)とハード事業を中心とする川商エレクトロニクス(株)とが、合併して設立された会社です。

特徴としては、

- 川鉄商事(株)のシステム構築・運用を長年担当していることから、商社・流通分野の業務システムに強い。
- ハード、ソフトの両事業を展開している。特に、売上高の3分の2を占めるハード事業の一般顧客の売上比率はまだ4割強だが、川商グループ以外のユーザー数は450社以上あり、拡販の可能性が十分ある。
- LAN、WAN、電話などの通信ネットワーク構築を設計から工事までこなせるという技術力がある。ことなどが挙げられます。

当社としては、これらの特徴を最大限に生かしつつ、両社の人的資源、営業・技術・開発力をうまく組み合わせ、事業を推進することにより、グループとしてさらなる発展を目指したいと考えています。

会社概要

社名	KITシステムズ株式会社
本社所在地	東京都台東区蔵前2-17-4 リバー蔵前ビル
設立	昭和61年10月24日
資本金	2億円
売上高	6,957百万円(平成15年3月期)
株主	川鉄情報システム株式会社、 川鉄商事株式会社
社員数	223名(平成15年3月31日現在)

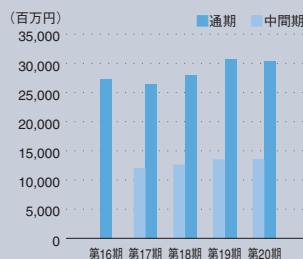
主要事業

1. 情報・通信事業
 - ・ サーバ機器/パソコン機器/パソコン周辺機器の販売、設置、保守
 - ・ LAN/WAN機器の販売、設置、保守
 - ・ ネットワーク構築サービス
 - ・ 各種パソコン、Webサーバ用ソフトウェアの販売、導入、保守
 - ・ 電話交換機/ビジネスホン設置の販売、導入、保守
 - ・ 課金代行、回線リセール、企業向け携帯電話販売など
2. 情報関連システムおよび同ソフトウェアの開発・販売
 - ・ 企業向けシステム開発、運用、保守

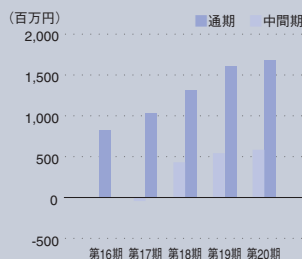
		第16期 (平成11年3月期)	第17期 (平成12年3月期)	第18期 (平成13年3月期)	第19期 (平成14年3月期)	第20期 (平成15年3月期)
売上高 (百万円)	中間期	—	12,064	12,663	13,551	13,588
	通期	27,341	26,435	28,007	30,698	30,344
経常利益 (百万円)	中間期	—	△43	432	543	585
	通期	829	1,037	1,306	1,614	1,687
当期(中間)純利益 (百万円)	中間期	—	△148	182	289	322
	通期	387	411	653	872	907
資本金 (百万円)	中間期	—	923	923	1,390	1,390
	通期	923	923	1,390	1,390	1,390
発行済株式総数 (株)	中間期	—	14,456	14,456	15,706	78,530
	通期	14,456	14,456	15,706	(注)2 78,530	78,530
株主資本 (百万円)	中間期	—	3,654	4,298	6,095	6,562
	通期	3,887	4,214	5,999	6,442	7,144
総資産 (百万円)	中間期	—	12,156	13,247	12,662	14,767
	通期	13,370	13,244	13,482	15,148	16,015
売上高経常利益率 (%)	中間期	—	△0.4	3.4	4.0	4.3
	通期	3.1	3.9	4.7	5.3	5.6
株主資本利益率 (%)	中間期	—	—	—	—	—
	通期	11.1	10.1	12.8	14.0	13.4
1株当たり株主資本 (円)	中間期	—	252,831.32	297,345.77	388,097.75	83,564.22
	通期	268,928.64	291,512.93	381,987.99	82,035.66	90,981.59
1株当たり当期(中間)純利益 (円)	中間期	—	—	12,627.08	18,405.70	4,104.88
	通期	27,430.81	28,436.93	44,855.10	(注)3 11,111.71	11,556.60
株主資本比率 (%)	中間期	—	30.1	32.4	48.1	44.4
	通期	29.1	31.8	44.5	42.5	44.6

- (注) 1.第16期は中間財務諸表を作成していませんので中間期については記載していません。
 2.平成14年2月20日付で普通株式1株を5株とする株式分割を実施しております。
 3.第19期通期の1株当たり当期純利益は、期首に株式分割が行われたものとして計算しております。

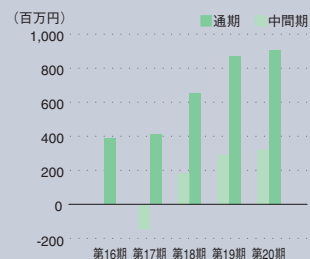
売上高の推移



経常利益の推移



当期(中間)純利益の推移



貸借対照表

単位：百万円

科目	第20期	第19期
	(平成15年3月31日)	(平成14年3月31日)
	金額	金額
資産の部		
流動資産	10,339	9,936
現金及び預金	353	354
受取手形	28	101
売掛金	8,020	7,996
たな卸資産	1,397	1,024
その他	546	472
貸倒引当金	△7	△13
固定資産	5,675	5,211
有形固定資産	2,118	2,196
建物	1,629	1,698
土地	439	439
その他	49	57
無形固定資産	1,121	1,139
ソフトウェア	920	936
その他	201	203
投資その他の資産	2,435	1,875
その他	2,548	1,980
貸倒引当金	△113	△104
資産合計	16,015	15,148

単位：百万円

科目	第20期	第19期
	(平成15年3月31日)	(平成14年3月31日)
	金額	金額
負債の部		
流動負債	8,009	7,657
買掛金	2,385	2,925
短期借入金	1,690	660
未払金	1,367	1,247
未払費用	1,428	1,581
未払法人税等	521	540
未払消費税等	297	315
その他	318	387
固定負債	861	1,048
長期借入金	—	240
退職給付引当金	861	808
負債合計	8,870	8,706
資本の部		
資本金	1,390	1,390
資本剰余金	1,959	1,959
利益剰余金	4,029	3,326
土地再評価差額金	△236	△236
その他有価証券評価差額金	1	2
資本合計	7,144	6,442
負債資本合計	16,015	15,148

(注) 財務諸表等規則の改正により第20期における貸借対照表の資本の部については、改正後の財務諸表等規則により作成しております。これに伴い、第19期についても改正後の表示区分に組替えております。

損益計算書

単位：百万円

科目	第20期	第19期
	(平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)	(平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで)
	金額	金額
売上高	30,344	30,698
売上原価	25,171	25,611
売上総利益	5,173	5,087
販売費及び一般管理費	3,466	3,431
営業利益	1,706	1,655
営業外収益	33	57
営業外費用	53	98
経常利益	1,687	1,614
特別利益	5	1
特別損失	11	17
税引前当期純利益	1,681	1,598
法人税、住民税及び事業税	942	904
法人税等調整額	△168	△178
当期純利益	907	872
前期繰越利益	224	226
当期末処分利益	1,132	1,098

利益処分計算書

単位：千円

科目	第20期	第19期
	(平成15年6月24日)	(平成14年6月25日)
	金額	金額
当期末処分利益	1,132,031	1,098,668
利益処分額		
配当金	219,884 (1株につき2,800円)	204,178 (1株につき2,600円)
任意積立金		
別途積立金	700,000	670,000
次期繰越利益	212,147	224,490

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	第20期
	(平成15年3月31日現在)
金額	金額
資産の部	
流動資産	12,138
現金及び預金	869
受取手形及び売掛金	9,103
たな卸資産	1,518
繰延税金資産	609
その他	56
貸倒引当金	△19
固定資産	5,679
有形固定資産	2,140
建物	1,642
土地	439
その他	57
無形固定資産	1,226
ソフトウェア	917
その他	308
投資その他の資産	2,313
投資有価証券	614
繰延税金資産	404
土地再評価に係る繰延税金資産	171
その他	1,263
貸倒引当金	△139
資産合計	17,817
負債の部	
流動負債	9,291
支払手形及び買掛金	3,286
短期借入金	1,900
未払金	1,211
未払費用	1,664
未払法人税等	586
その他	641
固定負債	1,206
退職給付引当金	1,192
役員退職慰労引当金	14
負債合計	10,498
少数株主持分	
少数株主持分	151
資本の部	
資本金	1,390
資本剰余金	1,959
利益剰余金	4,056
土地再評価差額金	△236
その他有価証券評価差額金	△2
資本合計	7,167
負債、少数株主持分及び資本合計	17,817

連結損益計算書

単位：百万円

科目	第20期
	(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)
金額	金額
売上高	35,664
売上原価	29,308
売上総利益	6,356
販売費及び一般管理費	4,450
営業利益	1,905
営業外収益	38
営業外費用	58
経常利益	1,886
特別利益	9
特別損失	82
税金等調整前当期純利益	1,812
法人税、住民税及び事業税	1,052
法人税等調整額	△198
少数株主利益	24
当期純利益	934

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	第20期
	(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)
金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△725
財務活動によるキャッシュ・フロー	565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額	515
現金及び現金同等物の期首残高	354
現金及び現金同等物の期末残高	869

■会社の概要

社名	川鉄情報システム株式会社 Kawatetsu Systems, Inc.
設立	昭和58年9月1日
資本金	1,390,957千円
従業員数	1,381名 (平成15年3月31日現在)

■役員 (平成15年6月24日現在)

取締役社長	岩橋 誠
専務取締役	坂倉 彰一
常務取締役	市川 勲
常務取締役	三浦 克己
取締役	船谷 幹夫
取締役	南部 正悟
取締役	谷利 修己
取締役	野村 信三
取締役	稲井 直樹
取締役	浅野 有一郎
取締役	福村 聡
常勤監査役	小畑 良夫
常勤監査役	池田 博
監査役	内藤 信行
監査役	若林 莊太郎

■本社所在地

〒136-8582
東京都江東区南砂二丁目36番11号
TEL.03-5665-6300(代)
FAX.03-5665-6390

■株式の状況 (平成15年3月31日現在)

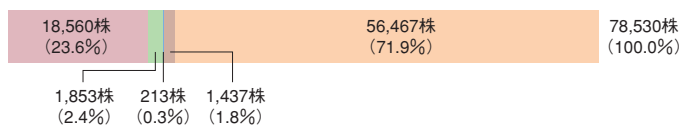
会社が発行する株式の総数	338,050株
発行済株式総数	78,530株
株主数	2,796名

■大株主 (平成15年3月31日現在)

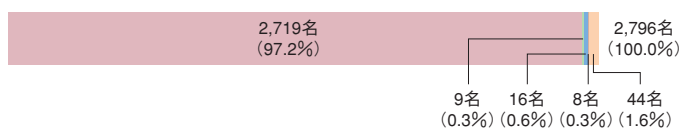
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数 (株)	議決権比率 (%)	所有株式数 (株)	議決権比率 (%)
川崎製鉄株式会社	51,165	65.2	—	—
川鉄情報システム社員持株会	4,644	5.9	—	—
富士通株式会社	2,500	3.2	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	826	1.1	—	—
ビービーエイチフォーフィデリティージャパンスモールカンパニーファンド	639	0.8	—	—
アトラス情報サービス株式会社	500	0.6	—	—
川鉄アドバンテック株式会社	500	0.6	3,500	0.6
川鉄電設株式会社	500	0.6	—	—
川鉄物流株式会社	500	0.6	—	—
川鉄マシナリー株式会社	500	0.6	—	—
中央三井信託銀行株式会社	500	0.6	—	—

■株式分布状況 (平成15年3月31日現在)

<持株数別株式分布の状況>



<所有者別の株主数>



■個人その他 ■金融機関 ■証券会社 ■外国法人等 ■その他国内法人

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
1流通単元の株式数	1株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
基準日	毎年3月31日、その他必要ある場合はあらかじめ公告する一定の日
名義書換代理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 証券代行事務センター (〒168-0063) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 (03) 3323-7111
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ)

住所変更、端株株式買取請求、名義書換請求、株券喪失手続および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

公告掲載新聞	日本経済新聞 なお、決算公告（貸借対照表および損益計算書）は下記アドレスに掲載しております。 http://www.kawatetsu-systems.com/kessan/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所

URL <http://www.kawatetsu-systems.com>

当社のホームページでは、
投資家のみなさま向けのIR情報をはじめ、
最新の動向をお知らせするWhat's New、会社概要、
サービス・商品など、様々な情報を公開しています。



当社ホームページは、
大和インベスター・リレーションズ(株)の
「2003年インターネットIR優秀企業賞
184社」に選定されました。



川鉄情報システム株式会社

JFE

〒136-8582 東京都江東区南砂2-36-11 TEL.03-5665-6300 (代表)

URL <http://www.kawatetsu-systems.com>

R100
古紙配合率100%再生紙